

図6．OBS データより求められた余震分布（平成23 年3 月15 日-6 月18 日）。○が余震の震源位置を表す。色は深さを表し、大きさはマグニチュードを表している。赤いコンターは、過去の海底観測により求められているプレート境界の深さを表す（東京大学地震研究所〔課題番号：1416〕）。

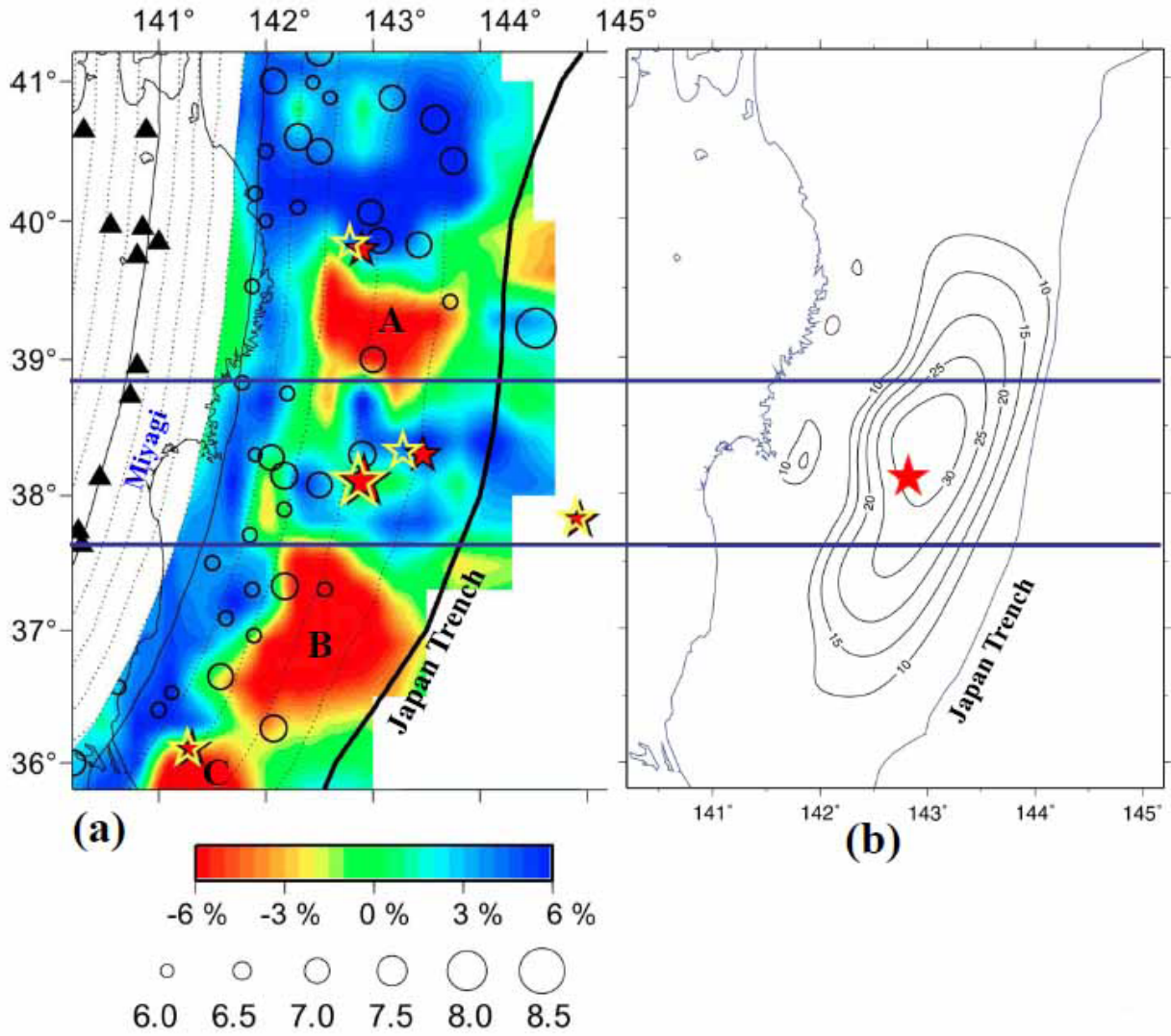


図7. a)東北地方太平洋側のプレート境界面直上におけるP波速度異常の分布 (Zhao et al., GRL, 2011)。A, B, C に顕著な低速度異常が認められる。○は1900~2008年に発生したM6以上の地震の震央。星印は前震, 本震と3月11日に発生した大きな余震の震央で赤が再決定したもの, 黄色は気象庁によるもの。b)本震時の滑り量分布 (内田・飯沼, 2011)。星印は本震の震央 (東北大学 [課題番号: 1205])。